

秩父市秩父産の低炭素電力を民間企業として都内で初導入 ～CO2 排出量削減の取り組みとして、21年8月を目途に導入開始～

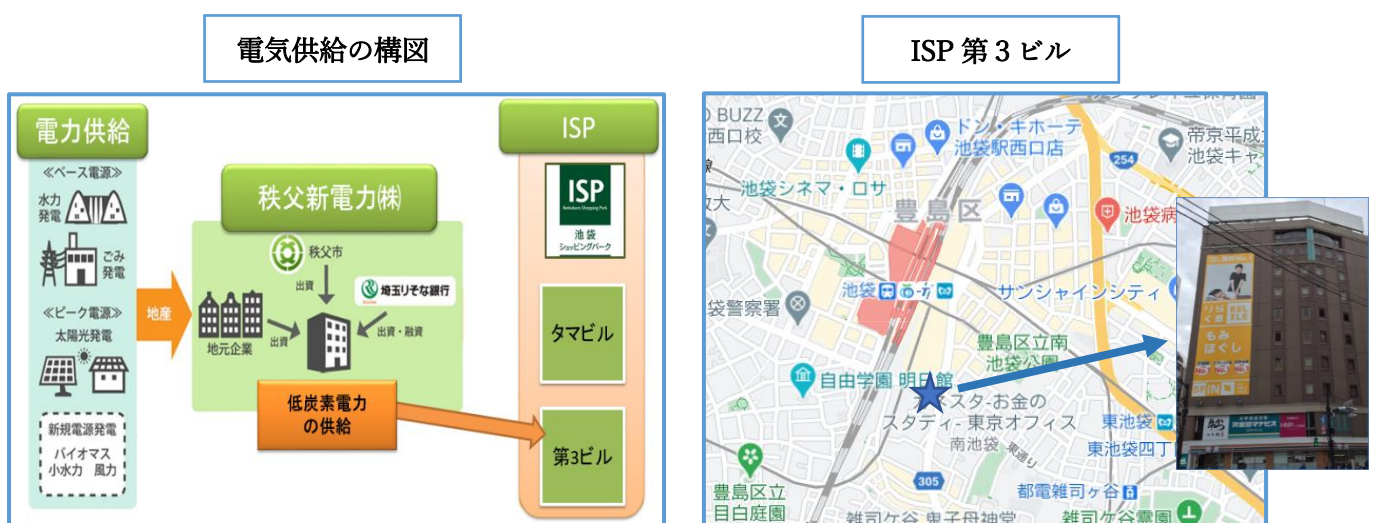
株式会社池袋ショッピングパーク（略称：ISP）は1964年に開業し、池袋駅東口において、ビル不動産、駐車場、ショッピングセンターの運営等、地域密着企業として豊島区とともに発展して参りました。

一方、当社が所在する豊島区は、世界共通の目標であるSDGsの達成に向け、先導的な取り組みを行う都市として、「SDGs未来都市」と全国のモデルとなるべき事業「自治体SDGsモデル事業」にダブル選定されました。その取り組みの1つとして、豊島区の姉妹都市である秩父市に所在する秩父新電力(株)と連携し、豊島区の施設等において同社より環境負荷の小さい電力供給を導入しています。また、秩父新電力(株)においては、自治体新電力会社として秩父市の地域活性化に取り組んでいます。

今般、当社は、豊島区と秩父新電力株式会社が進めるSDGsの取り組みに賛同し、2021年8月を目途に、民間企業としては都内で初めて、「秩父産」の再生可能エネルギーと未利用エネルギーを中心に調達している秩父新電力(株)の「低炭素電力」を導入いたします。秩父市内の豊かな自然を活用した水力発電・太陽光発電による電力や、秩父市内のごみ処理の際に発生する熱など、今まで利用されていなかった未利用エネルギー由来の電力で作られた低炭素電力を、当社が所有するISP第3ビル（[参考資料]参照）に供給を導入することにより、豊島区の地域低炭素化に寄与すると共に、秩父市の地域活性化にも貢献することを目指します。

なお、ISP第3ビルにおいては、使用する全ての電力をこれらの環境負荷の小さい電力とすることで、同ビルにおけるCO2排出量は20年度比で約2割削減となる見込みです。

当社は、これらの取り組み等を通じて、今後とも地域に密着した「人と環境にやさしい」取り組みを推進していきます。



<お問い合わせ> (株)池袋ショッピングパーク 戦略推進室：高木 / 施設安全管理担当：牧之瀬
(電話番号：03-3982-2111、FAX：03-3981-3737)

<参考資料>

■ISP 第3ビル概要

- ◇所在地：東京都豊島区南池袋三丁目13番10号
- 構造：鉄骨造 / 地上10階建
- 竣工：1997年2月（新耐震基準準拠）
- 用途：賃貸オフィス・事務所仕様
- 延床：436坪

■会社概要

- ◇会社名：株式会社池袋ショッピングパーク（略称：ISP）
- 本社：東京都豊島区東池袋一丁目5番6号
- 代表者：代表取締役社長 中條 美彦
- 設立：1959年4月15日
- 資本金：12億円

□事業内容

池袋東口公共地下駐車場・ショッピングセンター・ビル不動産等の経営
（駐車場 171台、SC テナント 70店舗、ビル2棟）

- ◇会社名：秩父新電力株式会社
- 本社：埼玉県秩父市熊木町9番5号 秩父ビジネスプラザ
- 代表者：代表取締役社長 新井 公夫
- 設立：2018年4月4日
- 資本金：2,000万円

□事業内容

小売り電気事業
再生可能エネルギーを利用した電力の発電・売電事業及び買取事業他

※SDGs 未来都市とは

SDGs の理念に沿った取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域を選定するもの。

※以上、内閣府 HP <http://future-city.go.jp/sdgs>